

京都教区時報

第185号

田中司教認可

毎月1日発行

発行 京都司教区 発行責任者 村上透磨

編集 京都教区時報編集室 住所 京都市中京区河原町三条上る河原町カトリック会館5F



貧しい人は幸いですか
心の貧しい人は幸いですか
福音とは何ですか
福音にとり福音とは何ですか
小さい人は誰ですか
貧しい人は誰ですか

貧しい人にした事は私にした
誰がそれを幸いとするのですか
でもどうしてそれが幸いですか
確かに私達はそう聞きました
誰がそれを幸いとするのですか
小さな人に福音がある
と主は仰せられた

傷つき痛む人は幸いですか
飢え渴く人は幸いですか
裸の人は幸いですか
家なき人は幸いですか
柔和で怒らぬ人は幸いですか
幸いと言つてよいのですか

苦しい人は幸いですか
抑圧される人は幸いですか
本当に幸いですか
貧しい人は幸いですか
心の貧しい人は幸いですか
福音とは何ですか
福音にとり福音とは何ですか
小さい人は誰ですか
貧しい人は誰ですか

NICE2の

分かち合いのために――

結婚について

『男女、親をはなれて二人一体となる』

浅田年生神父

教会での結婚式

昭和40年から、司教団の許可で、未洗者同士の結婚式のお世話をし、よいこととなり、当時の主任司祭の指示で手がけて20数年。ここ5年は申込み急増。講座は勿論教会での挙式は、信仰への手引きとして最適の場。宣教と教会紹介の場ですから、信者の方々には、挙式予告とお祝いをかねてお祈り下さるよう、ご協力を奉仕下さるよう願います。教会として受け入れるため、今後の生活を通して神が働かれるために。結婚と信仰と同じ道筋、愛と忠実の人生だと悟ってくださるとき、お式は祝福を味わい、喜びに包れます。参列者の中から、挙式を申出で、紹介されて来る方も増加。でも、本当の結婚であつたのかと疑う事例もあります。講話のきき方、回心のあり方が問われ、時代の考えのままに形式的な誓約に終わつたと考えざるを得ない結婚組もあります。親御さんの大勢は、教会的な「男女、親をはなれて二人一体となる」考えに慣れています。キリスト教国でのこの形は核家族化へと進みました。二

人揃つて「父母を敬いなさい」を実践する愛のつとめを必ずお二人が約束を公にすること（対面式）を話します。結婚式の式文が相互のおつきあいの中で話題になるための挙式前4ヶ月は最少必要です。

愛の共同体

「共に住む」こと。それには相互の努力・勉強が大切。「共に食事をする」こと。それには社会への開眼、理解と感謝、自分達の役割や、会社などでの営利から生活への改善に向けての連帯は努力が必要です。「夫婦の交わり」のつとめ、ビーリングス法は知つておいて欲しいので、ビデオの貸し出し、性についての考えを補繕し、神との関係を中心とする人間観が具体的に話題となります。

人は生きてても人を創れません。

教育、育児、家庭の意義は、夫婦の信頼と愛から親子のそれに移ります。信頼の根本を創造主に根ざした人生觀をすすめて、人生の意義については、これから追求しなければならない生涯の課題です。生きる規準、道として、共通のも

のと考るようにお勧めします。

●結婚は公の人生への出発点

神への尊敬、人の尊さの大さいことに気づいて、結婚するのは当然であつても、結婚させて下さるのは創造主神であり、神が今もおいでであり、神の中で生き挙式することを話します。「私があなたたちを選んだ」と使徒に申された主のお言葉を一番身近に感じ、信じられるのではないかと思ひ、福音朗誦は常にこのヨハネ15章から選びます。

聖霊の助けを信じて、参列の皆さんにも、その意向でお二人を観ていたらしく、親御さんもこの二人の晴姿に尊敬と喜びを味わつていただけるようです。新しく社会に親と同じ夫妻の立場に神から任命され、人生を二人助けあつて完結する使命を受けた新婚のカップルに、証人、両方の親達からご挨拶を受けて成婚を祝賀していくたく事も式の最後に表現するようにして、公の人生を歩みはじめていたくようになります。

●神を賛美する家庭を

日常生活の中にお働きになり、人、人の出来事、自然の中に神の御旨があることを、探すようにしていたることが大切だと思ひます。こうして別人でないと結婚が出来ないという出発点から、結

び合せて、生命を絡ませる人生を選んで、二人が一体となる大きい人間でないとできない芸術的、創作的すばらしい姿がはじまります。神への見事な賛美が家庭が出来る最大の喜びではないのかと思いま

●キリストを支えにして

困難、患い、迷惑、病、誤解、相違に出くわす毎に、一步踏ましく成長する力が内蔵されていることに気づく時、大きい感謝と喜びが、拡大されて行くことでしょう。キリストの歩まれた道が、支えとなることを御父は、どれほどお望みでしょうかと、愛の奉仕を道具にして、希望に向かっての努力と祈願をすることが出来ます。これから的人生を決定していく二人であることを自覚して、生を新たに始めて下さるよう、私の使命の一つとして、西陣教会の所属の信者さんだけではなく、多くの小教区の方々の愛のご奉仕を受けて、教会のお仕事として一回一回を心新たに勤めさせていただいている。署名の時には、お二人に、ご先祖の靈のため、ご両親の方のため、自分達のために、自分の言葉で神にお祈りになるようすめます。生と死をお世話下さる神への信頼の中で、生きる喜びを体験していただけるものと思いま

聖書週間・雨宮慧神父講演会から

講演のテーマ

第一イザヤにおける自然

昨年11月29日、河原町カトリック会館で聖書使徒職委員会平和への歩みにおける自然」が行われました。講演会に参加された方々からの感想を掲載いたします。

お話を聞いて

谷口 守(九条教会)

旧約の時代から人々は神を求め、平和が与えられると神を忘れる。人間の我が自然を破壊する。

雨宮神父様の聖書のお話は、大

変分かりやすく感動しました。イ

ザヤ書は、編集された年代により

第一イザヤ書、第二イザヤ書、第三イザヤ書と分かれており、その中の第二イザヤ書のお話をされた

わけですが、特に主が、イスラエルの民に行われた救いのみ業についてでした。

「人間が罪をおかしたならば、自然も一緒に罪の結果をこうむる事になる」「人間が贖われる時、自然も完全に贖われる」「人間の

救いは、自然の救いである」「自然と人間を、運命共同体として捉えている」。

捕囚の地から、エルサレムまでの旅は、荒れ野、砂漠である。そ

の中で親しみに深い自然、帰国を妨げる障害としての自然、優しい

自然、イスラエルの民の役割等、細かく説明されていました。

ヘブライ語から、日本語への翻訳のむつかしさや、単語について

も、他にこんな意味もある等々、聖書の専門家としてのお話も興味深いものがありました。

現在の環境問題、人権問題が、旧約の時代に語っていたと思うと、あらためて聖書の偉大さを感じさせられます。

もつと味わいたい

今井則子(桃山教会)

以前、雨宮神父さまの講話のテーマを聞いてとても感動し、一度実際に講話を聞いてみたいと思つていました。ここしばらく聖書を読む機会がなく、「イザヤ書」にもう少し親しみたかったと思うのですが、今回は分かりにくいでし

た。やはり、ふだんから聖書に親しないといないと、どんなに良い講話を聞いていても、内容についてゆくのがせいいっぱいで楽しむ余裕など湧いてこないでしょう。ただ、今回の講演を聞いて、言葉(原語)の解釈に非常に興味を持ちました。聖書を全部、原語で読めたら、また当時の時代背景もしつかり理解できていたらどんなに面白いだろうと思ひます。原語に近い訳の「イザヤ41-51章まで」プリントをいただきましたが、神父様の講演は一般に手にする聖書より、もつと生き生きとして迫力があるのです。「原語」となると、意味を説明されなくては理解できませんが、もつと本来の聖書の持ち味と言うか神髄に触れてみたい気がするのです。これからもこの様な講演会が度々開かれますように願っています。

神と人と自然との関り

高野ひろみ(高野教会)

この度の雨宮神父様の講演でイザヤ書の言葉が象徴している深い意味合いを解き明かして下さる事により神と人と自然との関連性へ理解を深めることが出来ました。

神は人が本来の力量を十分發揮します。

*なお、今年は11月28日(日)にコレン神父の講演会が予定されています。

出来ない状態におかれたり、逆境にあつて気が挫けている時は、そのやり場のない怒りや痛みを分かっただけで、必要な励ましや力を与えて下さる存在と知つて、痛みに触れる御手に、救いそのものを見つかりました。聖書を全部、原語で読めたら、また当時の時代背景もしつかり理解できていたらどんなに面白いだろうと思ひます。原語に近い訳の「イザヤ41-51章まで」プリントをいただきましたが、神父様の講演は一般に手にする聖書より、もつと生き生きとして迫力があるのです。「原語」となると、意味を説明されなくては理解できませんが、もつと本来の聖書の持ち味と言うか神髄に触れてみたい気がするのです。これからもこの様な講演会が度々開かれますように願っています。



*1部教会からの補助があるもの

費用 (一人当たり)	
10,000	
1,000*	
2,700	
小幼	3,500
	2,500
	2,000
	1,500
小	5,000
	2,000
	2,000
	10,000*
	2,000
	2,500
	3,500
小	7,000*
	6,000
	2,000
	500*
	2,000
	14,000*
	6,000
	3,500*



夏期キャンプの計画が始まられる時期です。キャンプの目的や計画の中身に沿った場所を選ぶことはとても大事なことです。毎年のことながら、計画をたてていくなかで、結構苦労することの1つは場所選びかもしれません。そこで、時報編集部では、昨年の夏の合宿やキャンプをどういう場所で、どれくらいの費用で行つたかについて、アンケート調査をさせていただきましたので、その結果をご報告いたします。

アンケートは59の小教区にお願いし、小教区からは16件、5教会が合同で行ったもの1件、滋賀ブロック3件、教区高校生会から1件のご回答をいただきました。

キャンプの目的、利用施設、費用、期間などについては表をご覧ください。

費用と場所と期間というのは、それぞれを独立して考えることができないものですし、キャンプ計画をたてていく中では、キャンプの目的に沿つた上で、何を優先させるかということで、利用する施設なども決まっていくものかもしれません。教会を利用すれば、たとえば2日で約2000円と費用は比較的安く押さえることができるので、自然に親しむこと、あるいは宣教、体験学習などを柱として考えていく時は、適切な施設を検討したいものです。

費用に関しては一人あたり35

00円前後のところが多いようです。

近年、教会学校のリーダーが不足している悩みを持つ小教区も増えているようですが、いくつかの教会が合同でキャンプを計画するのも小教区の枠を越えた交流を考えることができますし、1つの新しい形かもしれません。また、夏期キャンプはさまざまな意味で、子供たちの信仰教育の1つの場としてとても大切なものです。アンケート結果がキャンプ計画の一助になれば幸いです。アンケート調査にご協力いただいた各小教区の方々に紙面を借りて厚くお礼いたします。

あんなとこ・こんなとこ・夏期キャンプの計画は？

目的	教會	期日	場所	参加人数 (小学生)	スタッフと手伝い (延人数)
A. 親睦	伊勢 八幡 郡山 宇治 奈良 東舞鶴 園部 大和高田	7月19日 7月20、21日 7月24、25日 7月24~26日 7月25、26日 8月1、2日 8月4日 8月7、8日	三重県厚生年金休暇センター 教会ホール 信貴山キャンプ 野外礼拝センター 教会・信徒会館 教會 名古屋市東山動物、植物園 教會	11 13(幼7) 12 65(幼8) 21(幼2、中3) 12 17(大人も含む) 19(幼一中3)	5 11 3 37 8他若干 8 4 8
B. 祈り	大和八木 登美が丘 山科 桂	7月21、22日 7月24、25日 7月25、26日 7月25、26日	御所虹 京都レクリエーションセンター亀岡ハイツ 教会・幼稚園、プール 教會	8(高2) 22 15 19	4 4 12 11
C. 自然	西大和 河原町 合同(高野、 西陣、北白川、 衣笠、九条)	7月24、25日 8月5~7日 8月13~15日	大阪明星学園 校外学舎 信貴山 綾部青少年の家 野外礼拝センター	17 21 24	7 7 21
D. 平和	津 名張	7月24、25日 8月1、2日	三重カトリック研宗館 教會	15 15	10 8
E. 宣教	○一般の申込みの 子供たちといっしょに 夏期学校	滋賀(合同)	7月21~24日 大津教会	80	30
F. 訪問	○体験学習 修道院の生活や 活動を体験する	滋賀(合同)	8月26、27日 東京女子パウロ会	中高女子生徒	—
G. 高校生会	○障害児福祉 協議会のフレンドリー キャンプに参加	教区主催	8月21~25日 丹後療育センター (隣接テント村)	高校生 14	担当司祭1
H. 青少年練成会	○小5~高校生の 親睦を兼ねた練成会	滋賀県 信徒連合会	8月14~16日 葛川青少年キャンプ場	小5~高3 40	30

みことばをかこう書道展・絵画展から



92年の「みことばをかこう書道展・絵画展」は11月20日（金）から11月29日（日）まで、西院カトリック会館ホールで開催されました。聖書のみことばを生活の中に入れてゆくために、また、聖書週間の行事として行われてきたこの展示会も今年で書道展は11回目、絵画展は5回目を迎えました。

今回は前回に比べて出品数が少なかったのですが、初出品の沖縄の海星小学校児童の素晴らしい作品（22点）が、それを補ってくれました。どの作品も用筆がきちんとしていて、しかも力強く書かれていて感心しました。聖書の物語を力一杯、画面に表現してくれた児童の絵画も、ほほえましく見飽きません。今回は全体的に小学校低学年の作品が勝れています。次回もまた、多くの作品をお待ちしています。参加作品数は次の通りです。成人の部（書道30点、絵画5点）。子供の部（書道75点、絵画22点）。

●審議事項

新しい役員が決まりました。

議長 村上（眞）師
常任委員 滝野師、柳本師

《新しい評議員》

司教代理・村上（眞）師
教区付司祭代表・

花井師、滝野師、柳本師
京滋メリノール代表・

チャイコフキー師
三重メリノール代表・

ジヤクソン師
レデンプトール代表・

フォルテン師
マリスト代表・オヘール師
ヴィアトール代表・ボアベール師
エスコラビオス代表・リベロ師
その他の会代表・ロペス師
宣教司牧評への推薦・ラッキード師
NICE II代表者の推薦・

オヘール師
河原町教会主任（4月11日付）
河原町教会助任（4月26日付）
村上真理雄師
ジユード・タデウス・ベシンガ師

司祭評議会定例会議報告
1月4日

高野・西陣教会主任兼任（4月11日付）
河原町教会主任（4月11日付）
浅田年生師
高野教会助任（4月11日付）
岡 淑人師

山科教会主任（4月11日付）アヴ
エマリア幼稚園長（4月1日付）
アントニオ・バルデス師
伏見・桃山・八幡教会共同司牧主
任（92年10月4日付）

ジヨセフ・ラッキード師
伏見・桃山・八幡教会共同司牧・
教区事務所副主任（4月11日付）

ジヨセフ・ラッキード師
大塚喜直師

西院・桂教会共同司牧（4月13日付）
ステイーブ・ブリミティーボ・

バラスバス師
亀岡・園部教会主任兼任（3月7
日付）
マルコ・アントニオ師の許で研修
(2月5日付)

エミリオ・フォルトル師

西院・桂教会共同司牧（4月13日付）
マルコ・アントニオ師の許で研修
(2月5日付)

司祭異動のお知らせ

あなたの良き隣人として
カトリック御葬儀
貨物一式(仏式可)
聖ヨゼフ葬典社

パウロ 杉下安雄
(西院教会所属)

京都市右京区西院寿町23
☎ (075)312-7829

京都には、日本にいる外国人や
外國と様ななかたちで関っている
人が沢山いる。

留学生を支援するグループ、外
国での災害(チュルノブイリ、ビ
ナツボなど)や政治紛争、戦争に
よつて被害を受けた人達に関する
いるグループ、日本国内外で抑圧
されている外国人と関わっている
グループ、地球環境の問題に取組む
グループ: そういうた数々の問題
にかかる「きっかけ」になった
のは自分の身近な生活、体験の中
での出会いや触れ合い、またそれ
らを通して得た人間同士の熱い想
いではないだろうか。

わたしの場合も、ふとしたきっ
かけからカンボジア紛争と難民の
存在を知り自分のできる限りのこ
とをしようとしたのが今から
約十年前のことだ。身近な人が日
曜を返上して募金活動、チ
ヤリティ公演の企画に忙
くしていた。彼女は彼女の
友人であるカンボジアから
の留学生の国の両親の為に、
やがてその留学生の祖国の
為に、そして全世界の難民
の為に働き始めた。私がそ
の「彼女」からカンボジア
のことを知らされた時に心

を搔きぶられる思いだつた。
勿論、新聞やテレビで詳細に
及ぶ報道を見ていた訳だが、

彼女から直接話を聞き、草の
根団体の活動レポートを読み
今度は自分の身近な人に起つ
た問題として感じてしまうの
を止められなくなつた。

これを読んでいる人も、同

じような「きっかけ」を経て「人
間同士の熱い想い」によつて身近
なところにいる、又は地球の反対
にある国にいる人に対するかかわ
りを持つてゐることと思う。

ところで、こんな「きっかけ」
作りとなるお祭りをしようと思う。

野外イベントでステージと屋台で

一般市民の方にどんどん来てもら
おうというものだ。草の根的団体
でも法人でも、単体でアピールす
るのはなかなか大変だし、バザー
とか企画するのもパワーが必要る。

私たちがコーディネーターとなつ
て、屋台やステージで様々な自己
流のアピールをして頂きたい!(あ)

FESTA! FESTA! FESTA! /
93年5月23日(日)
カトリック信愛幼稚園
グラウンド
大募集
①賛同人(1口1,000円)
②賛同団体(1口3,000円)
③イベントスタッフ
④出店個人(団体)
お問い合わせ・お申し込み
は青年センターまで
(075)822-6240

(((((あんてな)))) あんてな



第3回バングラデイシユ 派遣メンバーが決定 3月16日出発予定

清住智子

ングラデイシユについて知りたい。

南 雅人さん(小山教会) 23才
医大5年生

(動機)いろいろな人と出会いいた
い。自分の今知らないことを知り
たい。

林 和子さん 18才

(動機)アジアに興味があり、い
ろいろな体験をしてみたいから。

以上、4名と引率司祭として教

界的な視点で見直すきっかけにし
たい。そして何よりも人に会いた
い。

和田真史さん
大学4年生

(動機)今の自分の生活を第三世
代の視点で見直すきっかけにし
たい。そして何よりも人に会いた
い。

佐藤真史さん 23才 大学4年生

(動機)バングラデイシユの現状

について、実際この目で見ること
が必要であり、現地の人々と観光
客という形ではなく、人と人とい
う形式で触れ合える機会はめつた
くないと考えるから。又もつとバ

